

ショートコメント vol.358 (2025年4月9日)

テーマ：街角景気にみる万博への期待感 ④

～関連コメント数は前月から1.3倍に増加～

●街角景気の直近の状況

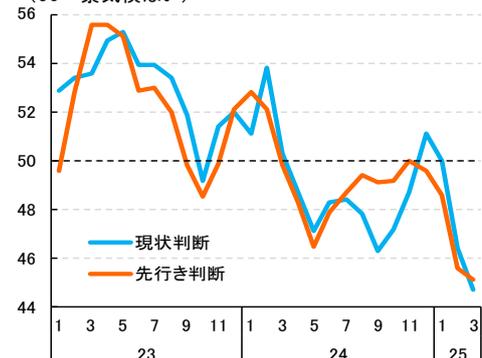
街角景気として知られる、内閣府「景気ウォッチャー調査」の3月調査結果が公表された。

現状判断については、訪日客の増加傾向は続いているものの、インフレによる悪影響のほか、米国トランプ政策に伴う株安傾向などが響き、3か月連続の低下となった(図表1)。

先行き判断も、インバウンドの増加傾向や万博への期待はあるものの、トランプ政策による影響が見通せない中、先行きへの不安が高まっている。

加えて実質賃金の前年割れ傾向が続く中、足元は消費者の節約志向が根強い。今後も物価の上昇傾向には変化がないことから、消費の基調については慎重な見方が続いている。

【図表1】 (関西) 景気ウォッチャー調査の現状・先行き判断 (50=景気横ばい)



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」、以下同じ

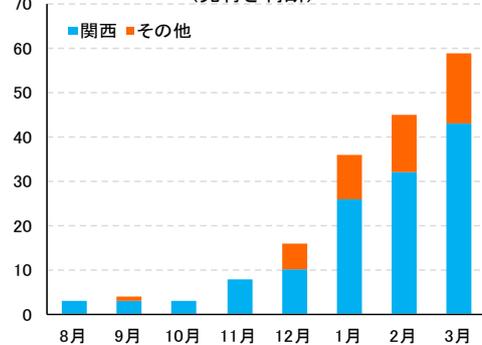
●先行き判断と万博の開催

一方、大阪・関西万博の開催が間近に迫っていることから、先行き判断に対する万博の影響に注目したい。

景気ウォッチャー調査では、景気判断に付随する形で、その判断の根拠となる定性コメントも聴取している。そこで先行き判断にかかる定性コメントのうち、万博への言及状況をみると、3月調査での言及は全国で59件と、前月(45件)から1.3倍の増加となった(図表2)。

基本的には関西が43件と大半を占めるものの、その他の地域も16件となるなど、一定の関心がみられることは間違いない。なお、その他の地域の内訳としては、四国が4件、東海、中国が3件などとなっている。

【図表2】 (全国) 万博関連のコメント件数 (先行き判断)

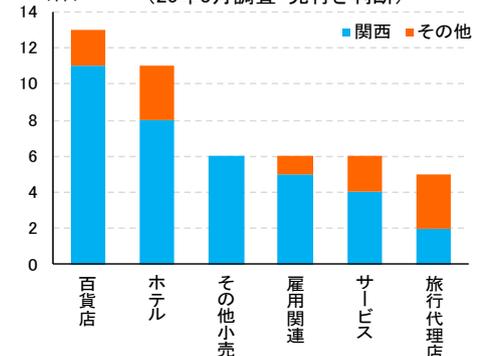


●万博コメントの業種分布

一方、3月調査で万博に言及のあった業種に注目すると、前月と同様に、今月も百貨店が13件と最も多く、ホテル関連が11件と続く(図表3)。この2つの業種については、関西だけでなく、その他の地域でも動きがみられる。また、コンビニを中心とした「その他小売」に加えて、雇用関連のコメントも比較的多くなっている。

雇用関連では、警備関連を中心に幅広い求人の増加に期待が集まっているほか、万博による求人条件の押し上げ効果にも期待が大きい。

【図表3】 (全国) 万博関連の業種別コメント件数 (25年3月調査・先行き判断)



※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

●現状判断にみられる万博効果

なお、すでに開催が目前に迫っていることもあり、3月調査では現状判断にも万博関連のコメントが少なくない（図表4）。

主なコメントをみると、ホテルでの好調な予約の動きのほか、一般小売店でも動きがみられるなど、様々な業種の需要の増加が確認される。

インフレの長期化で国内需要は低調な動きが続く中、関西企業にとっては貴重な動きであることは間違いなく、開幕後はさらなる動きが期待される。

4月当初の来場者の動きがどの程度の勢いとなるかはやや不透明であるが、まずは5月のゴールデンウィークに向けた盛り上がりへ期待が集まろう。

【図表4】

（3月・現状判断）万博関連の主なコメント（関西）

一般小売店[書籍]（管理担当）	・大阪・関西万博の開催を来月に控え、関連商品の購入が増えるなど、関心が高まっている。
都市型ホテル（客室担当）	・大阪・関西万博の影響もあり、高単価での販売が多く、客室稼働率も80%を超えている。
都市型ホテル（総務担当）	・大阪・関西万博の開催まで1か月を切り、宿泊では4月の予約が好調であるが、3月の集客が伸び悩んでいる。宴席、飲食関係も、近隣施設の相次ぐ開業によって伸び悩んでいる。

本件照会先：大阪本社 荒木秀之
 TEL: 06-7668-8805 mail: hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。